

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	内山真一郎
大友 英一	梶 龍児
金澤 一郎	高坂 新一
作田 学	島津 浩
杉田 秀夫	高倉 公朋
塚田 裕三	辻 省次
寺本 明	中里 洋一
中込 忠好	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満	(編集主幹)		
神田 隆	桑原 聡		
酒井 邦嘉	泰羅 雅登		
三村 将	森 啓		

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

日本の食卓では、箸を使うのが今なお一般的であろうが、箸の形や材質は実にさまざまである。丸や四角の箸が圧倒的に多いのは、単に作りやすいからであろう。取り箸、菜箸、真魚（まな）箸といった使い分けにも表れているように、箸は食文化や習慣の違いを如実に反映している。中国や台湾では先が太い長めの角箸や丸箸が多い一方、韓国では平形のステンレス製の箸が一般的だ。毎日手にする道具だからこそ、割り箸はできるだけ使わずに良い箸を長く使いたいと思う。

いろいろと考えて試行錯誤した結果、箸は五角形のものが最良だとわかった。まず「面」の数が少ないほど面積が増すため、ピンセットと同じ要領で豆類や麺類がつかみやすくなる。丸箸は先端が「線」で接するから、道理で使いにくいわけだ。しかも丸箸は手の中で滑りやすく力を先端まで伝えにくい。一方、三角箸や四角箸となると、面取りがされていない限りどうしても箸のエッジが手や指に食い込んですぐに痛くなってしまふ。四角箸が単に作りやすいという理由だけで、痛いのを我慢して使うのは理不尽であろう。そこで五角箸を試してみたところ、手と指に接触する面が自然と五角箸の面に一致することがわかった。箸が滑らず手に吸い付くように持てて、しかも先端の二面が正対するから、先が細ければ胡麻粒まで楽に摘まめるのだ。これこそ「機能美」の典型と言えよう。

手作りの五角箸となると、職人が鉋だけで五角の面出しをするのだというから驚きである。その見事な正五角形の出来映えを見ているだけでも楽しくなる。縞黒檀や斧折樺（オノオレカンバ）といった、文字通り斧が折れるほど堅い木の箸なら何年も使える。最近はプラスチック製の五角箸を置いているラーメン店などがあり、大衆向けの材質とは言え、その形を採用した店のセンスが光る。先日、佐藤オオキ氏（「nendo」代表）のデザインによる『hanataba』という箸を見つけた。五角箸の天頂部に桜の花びらをあしらっているのが特徴で、さらにカエデ材を用いて軽妙さを加味している。なんと素晴らしいアイディアの融合であろう。

さて、今月号の特集は「『食べる』を考える」である。高齢化社会を迎えて、摂食・咀嚼・嚥下という人間の基本機能を考えながら、いかにQOLを維持していくかが大切な課題となっている。言語と同様に「箸を使う」という行為がなぜ人間だけのものなのかを考えてみると、この単純だが奥深い道具に対してさらに愛着が増してくるのである。

(酒井邦嘉)

BRAIN and NERVE (第67巻 第2号)

2015年2月1日(毎月1回1日発行)

定価: 本体2,700円+税(送料実費)

2015年 年間購読料(送料弊社負担)

冊子版34,080円, 冊子+電子版(個人)39,080円/(共有)44,240円,

電子版(個人)34,080円/(共有)39,240円

※2015年より年間購読料は本体価格表示となります。

印刷所 (株)アイワード (011)241-9341

広告申込 (株)ハイブリッジエージェンシー (03)3814-0089

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通(03)3817-5701 (小藤・風間・山崎)

販売部直通(03)3817-5659

FAX (03)3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

オンライン投稿 ID: brain パスワード: nerve

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2015, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, その都度事前に(株)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- ※「BRAIN and NERVE」は株式会社医学書院の登録商標です。